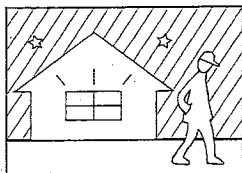
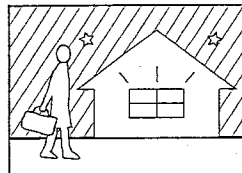
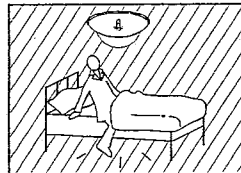
取扱説明書

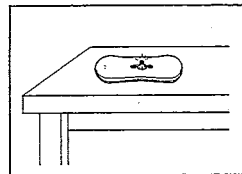
保存用

390

お客様へ ●ご使用の前に説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

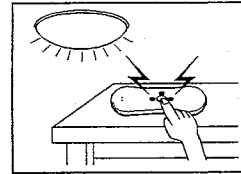
照明器具の特徴

タイマー機能

留守中でも自動で点灯･消灯することができるので在宅を装うことができます。

帰宅時に明かりでお出迎え。一人暮らしでも安心。

タイマーで保安灯を点灯し、夜間の足元を照らし、タイマーで朝消灯設定すれば消し忘れなし。

送信器背面にも送信部が付いているので机の上に置いたままタイマー機能が使えて便利です。

送信器背面の赤色LEDでタイマーモードを確認することができます。

オフタイマー機能

ワンボタン操作で60分･30分のオフタイマー設定。自動消灯で消し忘れなし。

送り機能

机の上に置いたままリモコン操作ができます。

送信器各部の名称

リモコン送信部

タイマーモード確認LED

送り ボタン(蓄光)

器具選択スイッチ

リモコン送信部

DAIKO

〔裏面〕

現在 午前 0:00 ← 現在時刻

設定1 全灯 午後 6:00 ← 設定1内容表示

設定2 消灯 午後 11:00 ← 設定2内容表示

設定ボタン

タイマー入／切ボタン

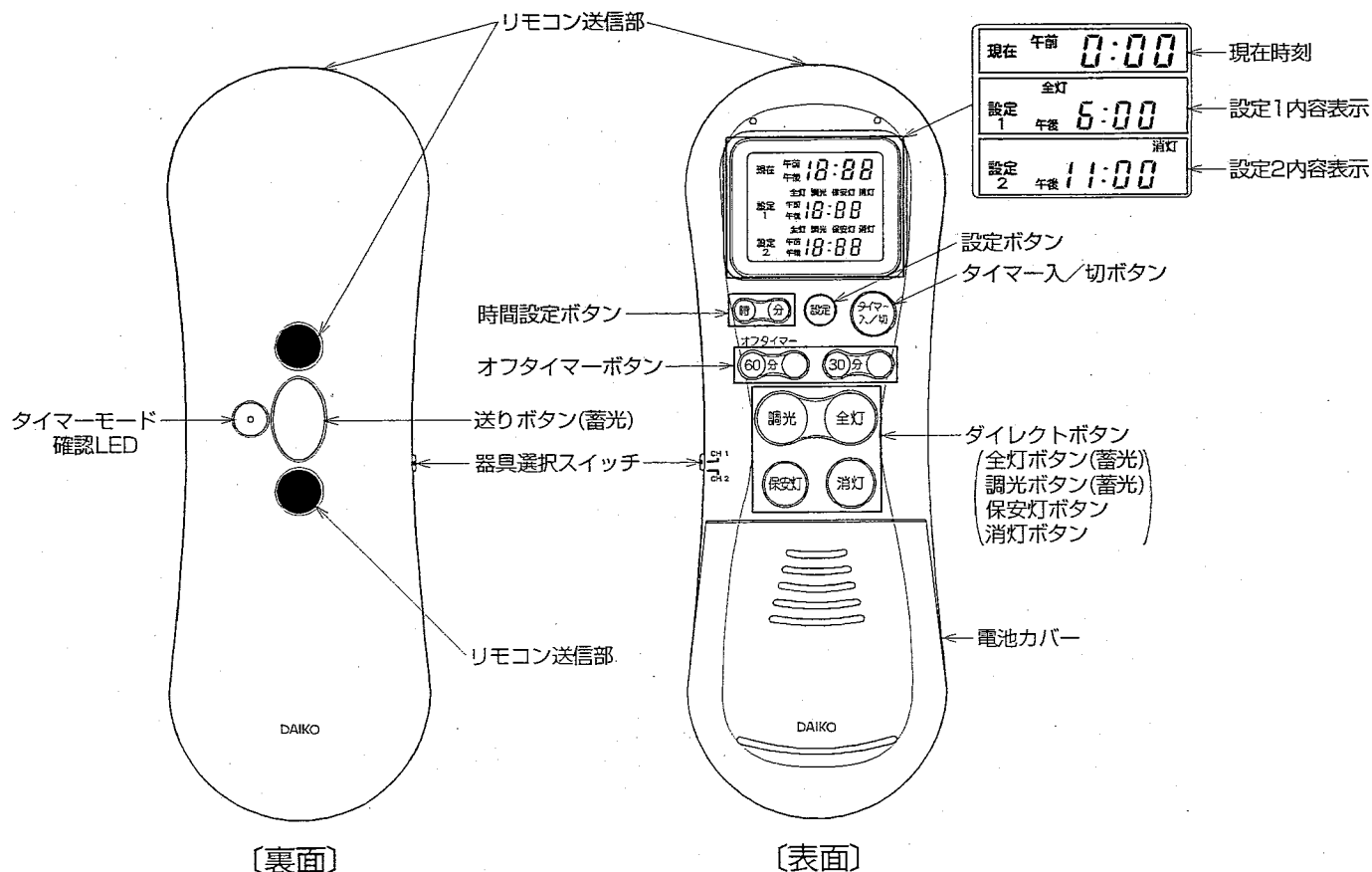
時間設定ボタン（時）（分）

オフタイマーボタン（60分）（30分）

ダイレクトボタン
(全灯ボタン(蓄光)
調光ボタン(蓄光)
保安灯ボタン
消灯ボタン)

電池カバー

DAIKO

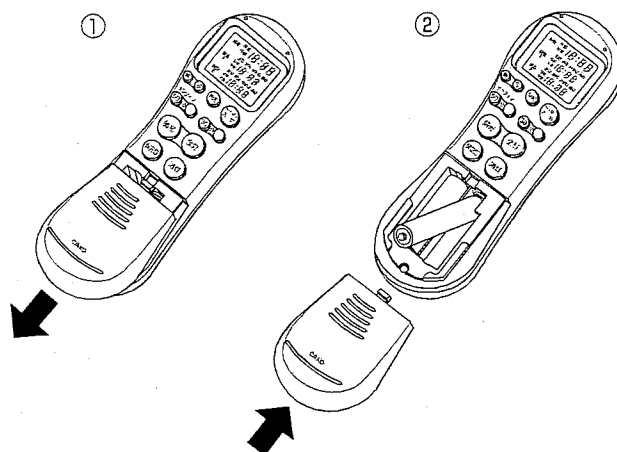
〔表面〕

初めて使う時

1. 電池の入れ方(交換方法)

①フタを軽く押さえながら、手前に引く。

②単三乾電池を表示に合わせて入れ、フタを閉める。

※極性(⊕、⊖)を間違えないようにしてください。
液漏れや破裂する危険があります。

・電池交換時期目安
乾電池は１年を目安にお取換えください。
乾電池交換後、１年に満たない時でも、操作距離が短くなったら乾電池を交換することをお薦めします。

2. 現在時刻の設定

※電池を入れた時は自動的に｢現在時刻｣が60秒間点滅するので、②以降の操作を行なってください。

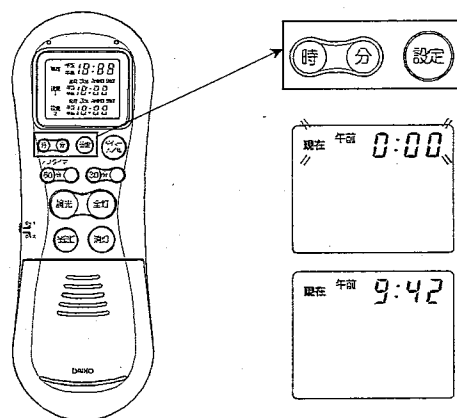
① (設定) **ボタンを２秒以上押す。**

｢現在時刻｣が点滅します。

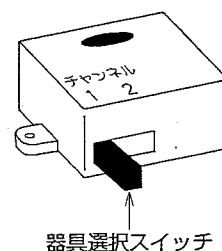
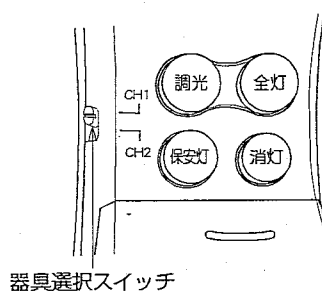
② (時) **及び** (分) **ボタンを押して、時刻を合わせる。**

0.5秒以上押すと早送りすることができます。

③ (設定) **ボタンを押す。**

現在時刻が設定されました。

3. チャンネル設定

・器具選択スイッチ
１つの送信器で２台の照明器具を操作する場合、受信器のチャンネルに合わせて器具選択スイッチを切り替えることで１つの送信器で２台の照明器具を操作することができます。
ただし1台でご使用される場合は送信器側と器具側のチャンネルを｢1｣に合わせてご使用ください。

送信器の器具選択スイッチと照明器具の受信器の器具選択スイッチが｢1｣に設定されていることを確認してください。

<注意>

・送信器側と照明器具側のチャンネルが異なる場合は動作しません。
・２台目の器具を操作する場合は、送信器の器具選択スイッチと照明器具の受信器のチャンネル設定スイッチを｢2｣に設定してください。
・出荷時は送信器、受信器(照明器具側)ともにチャンネルは｢1｣になっています。

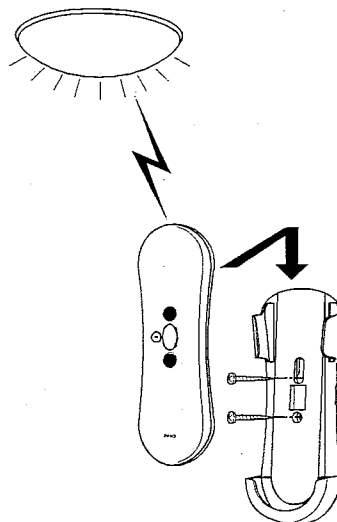
・タイマーモードでご使用される場合は、照明器具１台につき、１つの送信器でご使用ください。

<注意>

・１つの送信器で２台の照明器具を同時にご使用される場合、点灯状態が異なる場合があります。

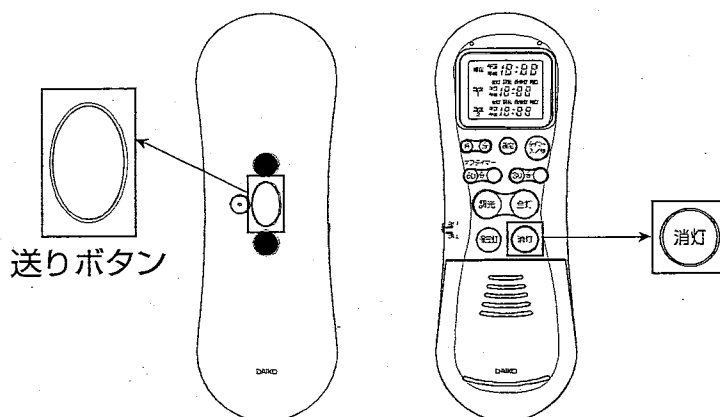
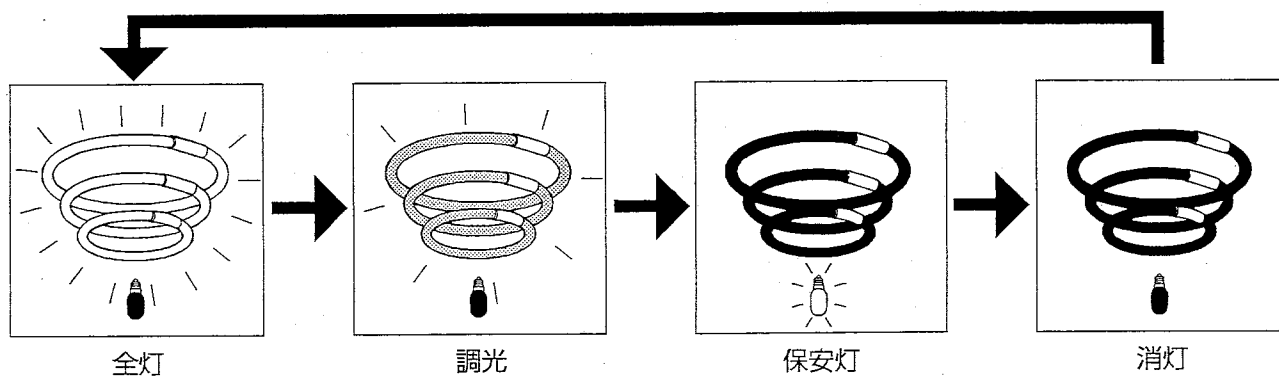
4. リモコンホルダーのご使用方法

・リモコン送信器をなくさないように同梱されているリモコンホルダーは付属の木ネジで壁面の補強材のある位置に固定してください。送信器の裏面を手前にして、リモコンホルダーにセットしてください。

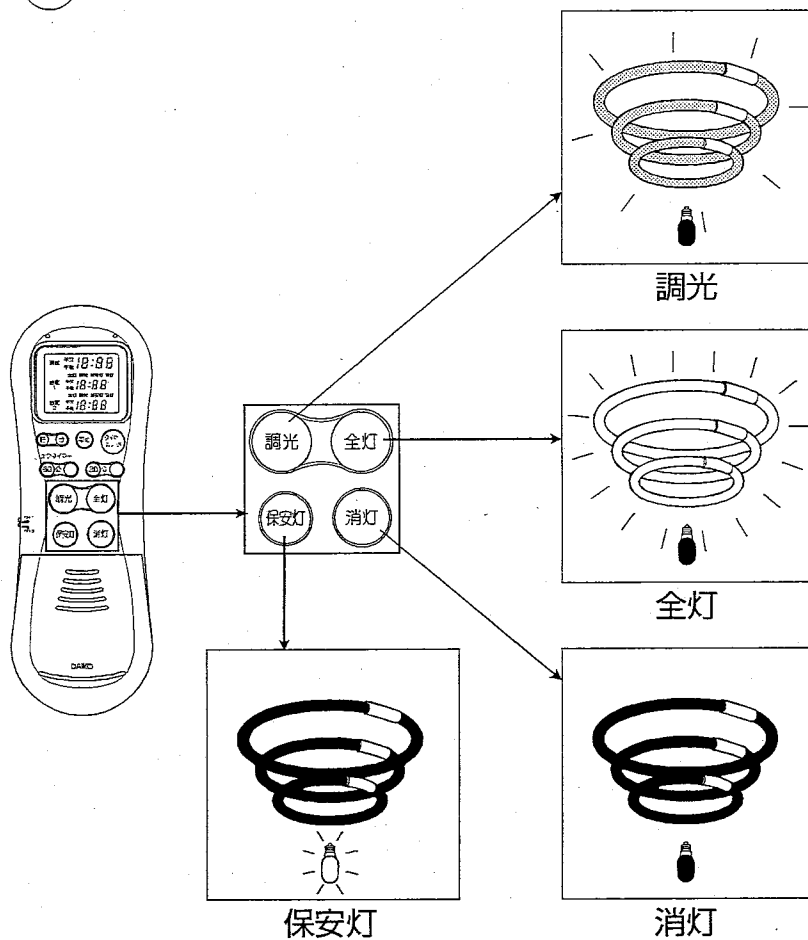
※但し、リモコンホルダーにリモコン送信器を入れたまま、壁スイッチの代わりとしてご使用になる場合は、固定する前にその取付位置で照明器具が動作することを必ず確認してから、リモコンホルダーを確実に固定してください。

操作方法

リモコン送信器で照明をオン／オフする

1. 順送りで点灯順序を切り替える

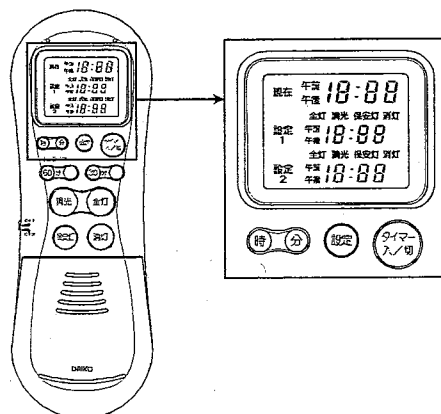
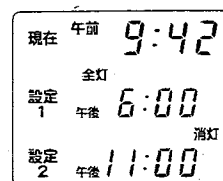
①送りボタンを押す。

送りボタンを押すたびに点灯モードが切り替わります。

②(消灯させたい時は) (消灯) ボタンを押す。

2. 1回のボタン(ダイレクトボタン)操作でお好みの点灯状態又は消灯にする

(全灯)、(調光)、(保安灯)、(消灯)のダイレクトボタンを押す。

3. タイマーの設定方法

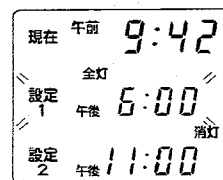
全灯、調光、保安灯、消灯の状態をタイマー設定することができます。
タイマーはリモコン送信器に記憶させるため、リモコンが操作できる場所に置いてください。

3.1. タイマーの設定方法

① (タイマー入/切) **ボタンを押す。**

液晶画面に「現在」時刻、タイマー「設定1」、
タイマー「設定2」が表示されます。

② (設定) **ボタンを2秒以上押す。**

「設定1」が点滅します。

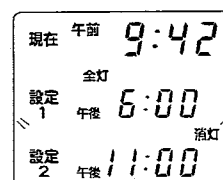
③ (時) **及び** (分) **ボタンを押して、時刻を合わせる。**

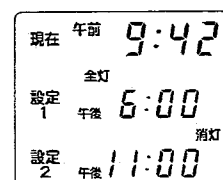
0.5秒以上押すと早送りすることができます。
「分」は10分刻みで設定できます。

④ (全灯)、(調光)、(保安灯)、(消灯) **のいずれかのボタンを押して点灯状態を選択する。**

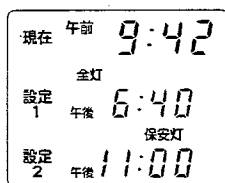
⑤ (設定) **ボタンを押す。**

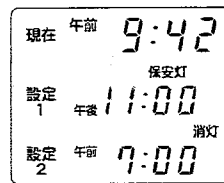
「設定1」が設定が終わりました。
「設定2」が点滅します。

⑥ (時) **及び** (分) **ボタンを押して、時刻を合わせる。**

⑦ (全灯)、(調光)、(保安灯)、(消灯) **のいずれかのボタンを押して点灯状態を選択する。**

⑧ (設定) **ボタンを押す。**

タイマーの設定が完了しました。

タイマー設定例1
午後6時40分に「全灯」で点灯し、
午後11時に「保安灯」にしたい。

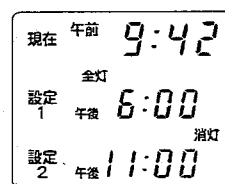
現在 午前 9:42
全灯
設定1 午後 6:40
保安灯
設定2 午後 11:00

タイマー設定例2
午前11時に「保安灯」で点灯し、
午前7時に「消灯」したい。

現在 午前 9:42
保安灯
設定1 午後 11:00
消灯
設定2 午前 7:00

<注意>
「設定1」及び「設定2」は同時刻に設定はできません。
必ず「設定1」及び「設定2」の設定してください。
タイマーはリモコン送信器からの信号で動作します。リモコン送信器が別の部屋にあったり、何かの下敷きになっている場合はタイマーが動作しないことがあります。

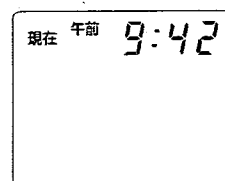
3.2. タイマーを切る

①液晶画面の確認をする。

液晶画面に「現在」時刻だけが表示されている場合は、タイマーは切れています。
「現在」時刻、タイマー「設定1」、タイマー「設定2」が表示されている場合はタイマーは入っています。

現在 午前 9:42
全灯
設定1 午後 6:00
消灯
設定2 午後 11:00

② (タイマー入/切) ボタンを押す。

液晶画面に「現在」時刻だけが表示されれば、タイマーは切れます。
タイマーが切れるとリモコン送信器の裏のLEDが消灯します。

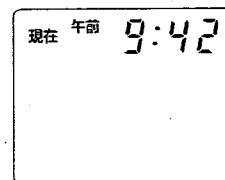
現在 午前 9:42

タイマーオフ

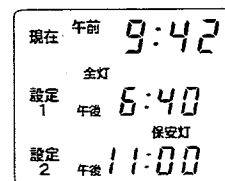
3.3. タイマーを入れる

①液晶画面の確認をする。

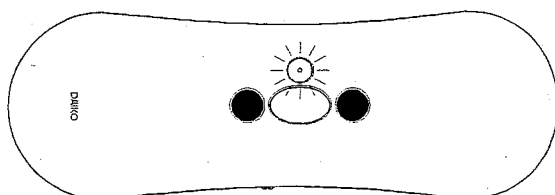
液晶画面に「現在」時刻だけが表示されていることを確認してください。

現在 午前 9:42

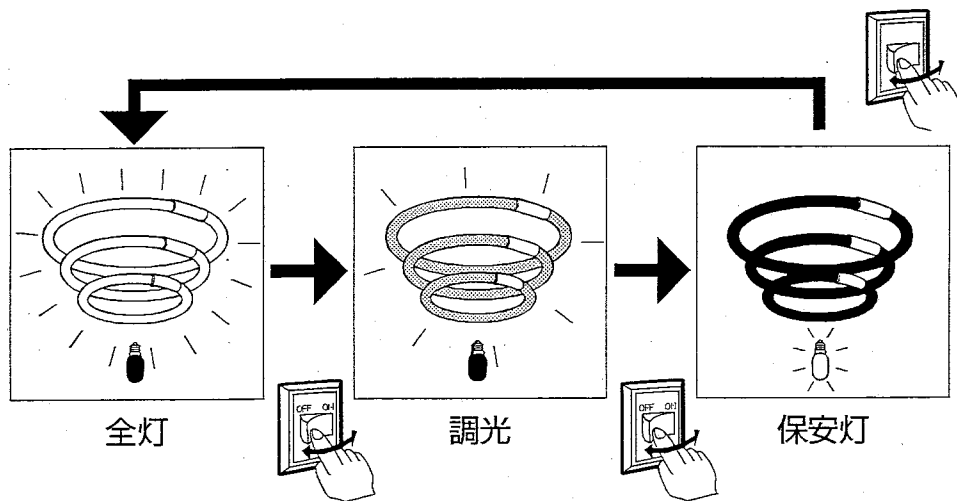
② (タイマー入/切) ボタンを押す。

液晶画面に「現在」時刻、タイマー「設定1」、タイマー「設定2」が表示され、タイマーが入ります。

現在 午前 9:42
全灯
設定1 午後 6:40
保安灯
設定2 午後 11:00

タイマーオン

<注意>
机の上に置いたままご使用になる場合は、ご使用になる位置で照明器具が動作することを確認してください。

タイマーが入るとリモコン送信器の裏のLEDが点滅します。

4. 壁スイッチで照明を操作する

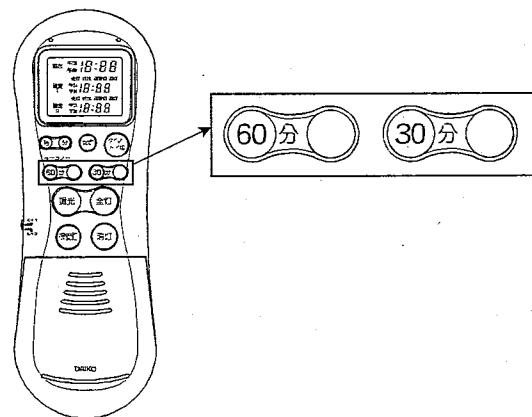
壁スイッチを素早く(約2.5秒以下)「オフ」→「オン」する。

“ピッ” とブザー音が１回鳴り、点灯状態が切り替わります。リモコン送信器の送りボタンと同様の動作をします。

壁スイッチを2.5秒以上「オフ」した後、次に「オン」すると「全灯」で点灯します。

<注意>

短い停電があると、点灯状態が切り替わることがあります。

5. オフタイマーで照明器具を消灯させる

タイマーとは別に照明を消灯させることができます。

①30分後に消灯させたい場合

(30) **ボタンを押す。**

照明器具から “ピ、ピ” とブザー音が2回鳴り、約30分後に消灯します。

②60分後に消灯させたい場合

(60) **ボタンを押す。**

照明器具から “ピ、ピ、ピ” とブザー音が3回鳴り、約60分後に消灯します。

<注意>

オフタイマーを動作させた後、再度、(30) 又は (60) ボタンを押すと、押した時点より更新されます。
オフタイマーを動作させた後、他のボタンを押すと、“ピー” とブザー音が鳴りオフタイマーが解除されます。

故障かなと思ったら

● 故障とお考えの前に、下記の項目をチェックしてみてください。

現　象	考えられる原因	処　置　方　法
リモコンを操作しても点灯しない。	壁スイッチがオフになっている。	壁スイッチをオンにする。
	器具選択スイッチが照明器具のチャンネルと異なっている。	器具選択スイッチを照明器具のチャンネルに合わす。
照明器具が突然点灯する。	タイマー再生モードに設定されている。	タイマー入／切ボタンを押して、タイマー再生モードを解除してください。

使用上の注意

- 他の器具を併用する場合は、器具間を1.5m以上離してご使用ください。照明器具本体の受信部に強い光が入りますとリモコン操作ができない場合があります。
- リモコンは、照明器具本体から3m以内の所からご使用ください。方向や、壁紙、カーテンにより感度が多少異なる場合があります。　特に、窓ガラスのある部屋でご使用になる場合は、受信部が壁側を向くように取付けてください。
- 壁スイッチが、オフの状態では、リモコンにより照明器具を点灯することができません。必ず壁スイッチをオンの状態でご使用ください。
- リモコンにより照明器具を消灯状態にした場合、停電したのち、照明器具が点灯することがあります。故障ではありません。
- 停電したのち、照明器具が停電前の点灯状態と、異なる点灯状態となる場合があります。故障ではありません。
- リモコンを落としたり、強いショックを与えないでください。故障の原因となります。
- リモコンに重いものをのせたり、踏んだりしないでください。故障の原因となります。
- リモコン内部や接点に、水など液体が、かからないように注意してください。故障の原因となります。
- 直射日光の当たるところや、暖房器のそばなど温度の上がるところや、湿度の高いところにはおかないでください。故障の原因となります。
- ライトコントローラー（調光器）との併用はできません。
- 器具と送信器の間に遮へい物がありますと、リモコンが動作しない場合がありますので、その際には遮へい物を避けて操作してください。
- 送信部・受信部が汚れますと、動作しにくくなりますので、柔らかい布で拭いてください。
- 器具の近くでインバータ器具を併用する場合、誤動作することがありますので、ご注意ください。
- 本取扱説明書の他に、取扱説明書が同梱されている場合は、そちらも必ずお読みください。
- 長時間お使いにならないときは必ず壁スイッチを切って節電に心がけてください。（リモコン送信器や補助スイッチで消灯した場合、マイコンを使用しているためわずかな電流が流れて約1.0Wの電力を消費します。）